

2023年 2月16日

京成電鉄株式会社

「京成グループ CO₂排出量削減目標」を設定 あわせてTCFDの提言に基づく開示を一部変更

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、「京成グループ CO₂排出量削減目標」を設定いたしました。

京成グループでは、2022年度より長期経営計画「Dプラン」を推進し、その重点施策として「エコロジカルなまちづくりの推進」と「環境・社会に関する情報開示の充実」を掲げております。

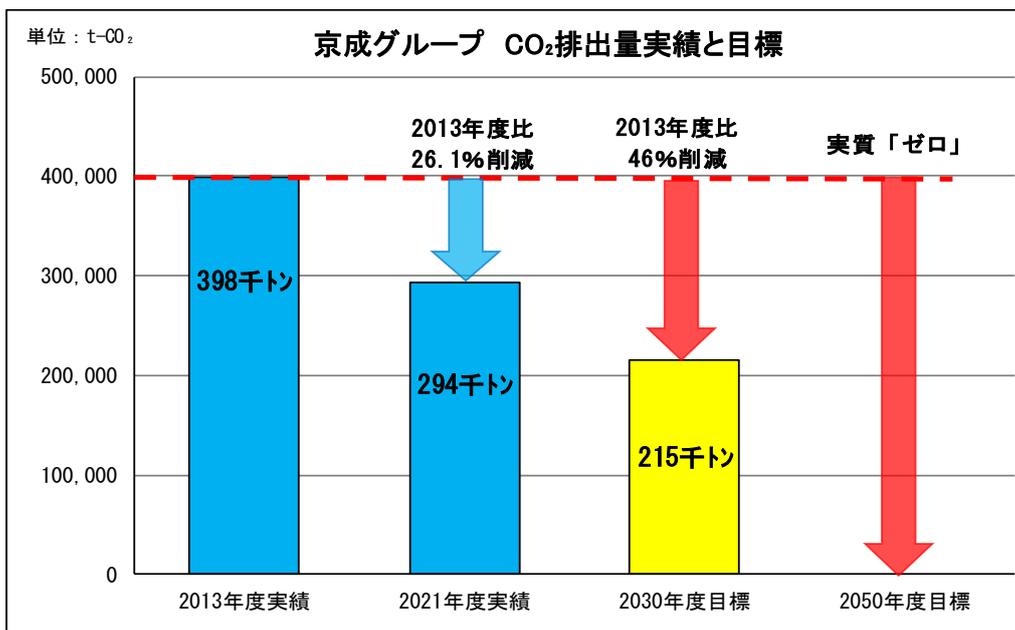
京成グループは、地球環境に比較的優しい鉄道を中心とした事業を運営しておりますが、気候変動がもたらす様々な影響を鑑み、グループ全体で地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)排出量の削減目標を以下の通り設定致しました。今後もエネルギー使用量の効率化を図り、カーボンニュートラル実現に貢献することを目指してまいります。

●京成グループ CO₂排出量削減目標

2030年度までに2013年度比46%削減を目指します。

2050年度までに実質「ゼロ」(=カーボンニュートラル)を目指します。

※対象:2022年10月1日現在の当社及び連結子会社の Scope1+Scope2



また、今回の CO₂排出量削減目標設定に伴い、TCFDの枠組みを踏まえた情報開示のうち「指標・目標」を変更いたしました。詳細は当社ウェブサイトで開示しております。

<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/management/governance.html>



TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)について

TCFDとは「気候変動関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称で、G20財務大臣・中央銀行総裁会議の要請を受け、2015年12月に金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示および気候変動への金融機関の対応を検討するために設立されました。

なお、京成グループの環境への取組みは「環境レポート 2022」をご覧ください。

(URL : <https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/csr/environment.html>)

以 上